

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	児童デイサービス ルピナス			
○保護者評価実施期間	令和 6 年 11 月 1 日		～	令和 6 年 12 月 30 日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	27人	(回答者数)	25人
○従業者評価実施期間	令和 6 年 11 月 22 日		～	令和 6 年 12 月 6 日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	5人	(回答者数)	5人
○事業者向け自己評価表作成日	令和 7 年 1 月 10 日			

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的にやっている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	児童が所属している学校の担任の先生と、当該児童の状態並びに状況について共有できている。	送迎業務を担う職員は、可能な限り同一校を担当できるよう配置することにより、担任の先生と関係性を構築できている。	可能な限り同一校を担当する配置を継続し、担任の先生との関係性を強化できるよう対応していく。
2	児童並びに家族の都合により、利用日の変更や送迎時間の変更に柔軟に対応。	送迎時間の変更は業務に負担が増す傾向にあるが、家族が安心して家庭内の役割を遂行できるよう支援が必要と考える。	対応が可能な限り利用日や送迎時間の変更に対応し、家族が安心して利用できる事業所として評価を得よう努める。
3	児童の将来を見据えた社会性の強化並びに地域社会で活動する機会を確保している。	中高生を対象としていることから、児童の高校卒業後の生活を見据え、社会性を強化するためのプログラムにより、施設外での活動を重視している。	施設外での活動は特に長期休みに行っていることから、土曜日と祝日も活動できるようプログラムを再考していく。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	相談支援事業所との連携が不足している。	特定の相談支援事業所とは連携が取れているが、他の事業所との連携が不足していると感じている。家族と当事業所で問題解決したことにより終結ととらえている傾向にある。	定期的な書面でのやり取りはあるが、都度家族への相談支援についての報告と相談員の同席を設定した家族支援を行うことで相談支援事業所との連携を強化する。
2	コロナ感染症が発生して以降、外部研修の機会が少なくなっている。	コロナ感染症により、外部研修の開催がなくなったことにより、外部研修の年間受講計画は特定の内容に偏っている傾向にある。	コロナ感染症が5類に移行したことにより、外部研修が開催されるようになってきている。リモートによる研修が多く見られることから、専門的な知識の向上を図るため積極的に研修に参加。
3			